



ほけんだより 7月号

2020年7月1日 発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ペアーズⅡ

暑い季節がやってきました。梅雨明け後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。喉が渇いていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

《6月の感染症情報》

伝染性膿痂疹（とびひ）	1名
感染性胃腸炎	1名
咽頭結膜熱（プール熱）	1名
アタマジラミ	1名

歯科検診の結果

虫歯のあった園児 … 23名
(全体の21%)

- 0～1歳児 … 0名
- 2歳児 … 3名
- 3歳 … 8名
- 4歳 … 9名
- 5歳 … 3名

保護者の方々の質問に、池田歯科の先生よりご回答いただきました。ほけんだよりの裏に記載しました。参考にさせていただきます。

気になる虫刺され

乳幼児が蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。時間が経つにつれ、赤く腫れたり、水ぼうができたらし、腫れる場合も大人よりも大きく腫れあがります。これは、虫刺されの経験が少ないために起こる激しい炎症反応です。

虫刺されの手当て

1. 水でよく洗い流す
2. 虫刺されの薬をつける
(刺されて30分以内につけるのが効果的)
3. かゆみや腫れがひどい時は、冷やす
4. 爪を短く切る（とびひの予防）

※ かゆみが強く、腫れが続く、ただれてくるなどの場合は、皮膚科を受診してください。

夏に多い感染症

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



3手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうができて、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

うさぎ組

○子供の歯みがき方法について学びたい。

上唇小帯という筋に指をおく、1～3秒毎に口から歯ブラシを出す、粘膜を引っ張りすぎない等、その子に合わせて色々コツはありますが、歯科医院でそのような指導もするので受診してはいかがでしょうか。

○歯みがきを自分でやるのだが、うまく使えないためほとんどみがけていない。親に仕上げみがきをさせてくれない。こんな調子だと虫歯が心配。

お母さんも一緒に歯みがきしながらみがき方を教えてみてください。仕上げは乳歯虫歯の好発部位(3歳頃までは上前歯の唇側の面・上前歯の歯と歯の間)を優先的に磨きましょう。また、虫歯の一番の原因は、食事(間食回数や種類)なので、間食の回数を減らす、歯にくっつきにくいおやつにするなどしてみてください。